

四半期報告書

(第39期第3四半期)

日神不動産株式会社

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【事業等のリスク】	4
2 【経営上の重要な契約等】	4
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	4
第3 【提出会社の状況】	7
1 【株式等の状況】	7
2 【役員の状況】	9
第4 【経理の状況】	10
1 【四半期連結財務諸表】	11
2 【その他】	21
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	22

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年2月13日

【四半期会計期間】 第39期第3四半期（自平成24年10月1日 至平成24年12月31日）

【会社名】 日神不動産株式会社

【英訳名】 NISSHIN FUDOSAN Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 佐藤 哲夫

【本店の所在の場所】 東京都新宿区新宿五丁目8番1号

【電話番号】 03-5360-2011（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役兼執行役員専務 経理・財務・広報・内部統制担当
藤岡 重三郎

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区新宿五丁目8番1号

【電話番号】 03-5360-2011（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役兼執行役員専務 経理・財務・広報・内部統制担当
藤岡 重三郎

【縦覧に供する場所】 日神不動産株式会社 横浜支店

(横浜市中区弁天通2丁目26番地2)

株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第3四半期 連結累計期間	第39期 第3四半期 連結累計期間	第38期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	28,559,882	31,224,402	50,533,824
経常利益 (千円)	761,508	589,271	2,969,323
四半期(当期)純利益 (千円)	418,831	345,168	2,950,668
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	374,537	389,725	2,956,418
純資産額 (千円)	29,250,956	31,985,507	31,832,748
総資産額 (千円)	60,441,161	62,212,670	62,207,812
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	17.85	14.71	125.80
自己資本比率 (%)	48.3	51.4	51.1

回次	第38期 第3四半期 連結会計期間	第39期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純損失金額(△) (円)	△5.38	△1.56

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれる事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 経営成績の分析

日神不動産株式会社の新築分譲マンションは、第2四半期までの販売が長引いた影響により、分譲戸数は357戸にとどまりました。

一方、多田建設株式会社の建設工事や日神住宅サポート株式会社の住宅物件販売が堅調に推移した結果、連結売上高は31,224百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

利益面では、多田建設株式会社の利益率が低下したことから、売上総利益は5,371百万円（前年同期比4.0%減）にとどまりました。

営業利益では、売上総利益の減少分を販売費及び一般管理費の削減で補えず、733百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

経常利益では、前年同期は275百万円の営業外収益を計上したのに対し、当期は160百万円にとどまった結果、589百万円（前年同期比22.6%減）となりました。四半期純利益は、345百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

なお、報告セグメントにて区分した場合の売上高は以下のとおりであります。

① 不動産事業

当社グループの主力事業である新築分譲マンションの販売は、販売戸数では前年同期とほぼ同数となりました。販売単価は、パレステージシリーズのみの販売だったことや一戸当たり面積が若干広がったことから上昇しています。この結果、売上高は11,802百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント損失は101百万円（前年同期223百万円の損失）となりました。

② 建設事業

多田建設株式会社の建設受注は前年同様好調に推移したものの、前年同期は利益率が高い分譲売上1,689百万円を別途計上していることや、建築資材費や人件費の上昇により利益率が低下した結果、売上高は16,350百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益は294百万円（前年同期比62.1%減）となりました。

なお、利益率の低下は期初想定 の範囲内です。

③ 不動産管理事業

不動産管理事業は、マンションの共用部分の管理業を中心として、ビル管理も受託しており、当連結会計期間末におけるマンションの管理戸数は25,000戸超となっております。

利益率の高い管理受託料収入の増加が寄与し、結果として売上高は2,450百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は244百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

④ 賃貸管理事業

賃貸管理事業は、賃貸仲介、賃貸物件の管理受託及び賃貸管理に伴う工事売上等、堅調に推移しました。

なお、前期より強化した賃貸用物件の販売が進捗しており、当該売上高及び戸数は1,953百万円、82戸となっております。この結果、売上高は3,333百万円（前年同期比31.2%増）、セグメント利益は351百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

⑤ ゴルフ場事業

米国のゴルフ場2社は、前期に引き続きゴルフ場資産の全てをゴルフ場運営会社に一括してリースしていることから、ゴルフ場事業から除外しており、株式会社平川カントリークラブのみを対象としております。

同社が運営している平川カントリークラブでは、6月にシニアツアーの開催地に選定されたこと等により、会場使用料収入が加わりました。この結果、売上高は489百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント損失は30百万円（前年同期35百万円の損失）となりました。

なお、営業外収益として名義書換料収入を計上しており、経常損益は黒字となっております。

⑥ その他

引き続き、米国のゴルフ場2社はゴルフ場資産を全て一括して賃貸しております。日神ファイナンス株式会社は、引き続き縮小均衡を目指しておりますが、今期は販売用不動産（代位弁済物件）の売上高35百万円を計上しました。

この結果、売上高は91百万円（前年同期比11.7%増）、セグメント損失は57百万円（前年同期89百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

① 総資産

主に現金及び預金や受取手形・完成工事未収入金等の減少と不動産事業支出金や固定資産等の増加がほぼ均衡した結果、総資産は62,212百万円（前年度末比0.0%増）となりました。

② 負債

主に支払手形・工事未払金等の減少と借入金 の増加がほぼ均衡した結果、負債合計は30,227百万円（前年度末比0.5%減）となりました。

③ 純資産

配当金の支払等による利益剰余金の減少を四半期純利益の増加による利益剰余金の増加が上回った結果、純資産合計は31,985百万円（前年度末比0.5%増）となりました。

(3) 業務上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間における特記すべき活動はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における特記すべき活動はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

① 当第3四半期連結累計期間において、以下の資産の購入が取締役会にて承認されております。

V I S I X平河町

会社名	提出会社
セグメントの名称	不動産事業
所在地	千代田区平河町1丁目5番15号
投資予定総額（概算）	1,100,000千円
規模	鉄骨造 10階 敷地面積 280.80㎡ 延床面積 1,665.75㎡ 賃貸オフィスビル
購入時期	平成25年1月

② 当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度末に計画中であった以下の資産が完成しております。

日神横浜ビル

会社名	提出会社
セグメントの名称	不動産事業
所在地	横浜市中区弁天通2-26-2
投資金額	1,493,655千円
規模	SRC造 地下1階 地上14階 敷地面積 604.61㎡ 延床面積 4,328.23㎡ 2階から4階を横浜支店事務所 5階から14階を賃貸マンション
完成年月	平成24年12月
事業使用年月	平成25年1月

(注)投資金額に土地は含んでおりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	74,000,000
計	74,000,000

② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,475,630	23,475,630	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株であります。
計	23,475,630	23,475,630	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年12月31日	—	23,475,630	—	10,111,411	—	426,578

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 21,900 (自己保有株式)	—	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 23,395,800	233,958	同上
単元未満株式	普通株式 57,930	—	同上
発行済株式総数	23,475,630	—	—
総株主の議決権	—	233,958	—

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式3,100株(議決権の数31個)が含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

② 【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日神不動産株式会社	東京都新宿区新宿 五丁目8-1	21,900	—	21,900	0.09
計	—	21,900	—	21,900	0.09

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役兼執行役員総務担当 兼人事部長	取締役兼執行役員総務部長	蓮 尾 彰 久	平成24年9月3日

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,557,774	17,250,667
受取手形・完成工事未収入金等	※1 6,710,603	※1 5,345,264
販売用不動産	7,208,182	7,642,750
不動産事業支出金	11,548,191	17,508,796
未成工事支出金	194,410	94,905
商品	6,653	8,599
短期貸付金	403,348	12,594
その他	1,910,119	2,018,068
貸倒引当金	△241,929	△201,791
流動資産合計	50,297,354	49,679,856
固定資産		
有形固定資産	9,054,661	10,029,215
無形固定資産		
のれん	410,960	322,897
その他	55,346	85,649
無形固定資産合計	466,306	408,547
投資その他の資産	※2 2,389,490	※2 2,095,051
固定資産合計	11,910,458	12,532,814
資産合計	62,207,812	62,212,670
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	7,753,783	5,095,054
1年内償還予定の社債	14,000	44,000
短期借入金	6,652,860	8,509,912
未払法人税等	227,194	93,747
引当金		
賞与引当金	204,035	96,677
完成工事補償引当金	79,650	75,490
設備関係支払手形	—	876,940
短期更生債権	470,062	453,179
その他	3,381,021	2,722,624
流動負債合計	18,782,607	17,967,625
固定負債		
社債	58,000	171,000
長期借入金	7,021,053	7,954,584
引当金		
退職給付引当金	1,523,325	1,533,872
役員退職慰労引当金	270,810	278,780
債務保証損失引当金	491,312	481,481
更生債権	1,192,370	739,274
その他	1,035,585	1,100,543
固定負債合計	11,592,457	12,259,537
負債合計	30,375,064	30,227,163

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,111,411	10,111,411
資本剰余金	426,578	426,578
利益剰余金	21,782,950	21,893,582
自己株式	△24,648	△24,648
株主資本合計	32,296,292	32,406,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,050	52,434
為替換算調整勘定	△540,562	△507,827
その他の包括利益累計額合計	△513,511	△455,393
少数株主持分	49,967	33,976
純資産合計	31,832,748	31,985,507
負債純資産合計	62,207,812	62,212,670

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	28,559,882	31,224,402
売上原価	22,962,371	25,853,246
売上総利益	5,597,510	5,371,155
販売費及び一般管理費	4,794,381	4,637,392
営業利益	803,129	733,763
営業外収益		
受取利息	11,229	8,076
受取配当金	7,021	7,621
受取手数料	60,100	56,400
貸倒引当金戻入額	39,558	15,512
完成工事補償引当金戻入額	71,167	12,657
その他	86,454	60,576
営業外収益合計	275,530	160,843
営業外費用		
支払利息	278,462	264,536
その他	38,689	40,799
営業外費用合計	317,151	305,335
経常利益	761,508	589,271
特別利益		
固定資産売却益	13,720	7,401
負ののれん発生益	—	2,279
特別利益合計	13,720	9,681
特別損失		
減損損失	116,143	29,395
投資有価証券評価損	17,965	—
特別損失合計	134,108	29,395
税金等調整前四半期純利益	641,119	569,557
法人税、住民税及び事業税	177,189	214,765
法人税等調整額	61,891	22,213
法人税等合計	239,080	236,979
少数株主損益調整前四半期純利益	402,039	332,577
少数株主損失(△)	△16,791	△12,590
四半期純利益	418,831	345,168

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	402,039	332,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	655	24,413
為替換算調整勘定	△28,157	32,734
その他の包括利益合計	△27,502	57,147
四半期包括利益	374,537	389,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	390,884	403,376
少数株主に係る四半期包括利益	△16,347	△13,651

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法の適用範囲の重要な変更

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 手形の割引高及び裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形割引高	— 千円	540,504千円
受取手形裏書譲渡高	123,850	542,189

※2 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
投資その他の資産	1,111,502千円	1,126,006千円

3 保証債務

(1) 販売顧客の金融機関等からの借入に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
販売顧客	2,516,145千円	2,080,632千円

(2) 連結子会社である日神ファイナンス株式会社は、借借人と保証委託契約を締結し、契約上家賃の6月分相当額を上限として家賃保証をしております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
保証委託契約に基づく保証債務額	56,102千円	41,288千円

(3) 連結子会社である多田建設株式会社は、以下の会社の住宅販売に係る手付金等の保証会社の保証残高について連帯保証しております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
(株)アーネストワン	48,160千円	96,255千円
(株)新昭和	—	95,480
(株)タカラレーベン	51,100	51,900
その他	148,070	64,006
合計	247,330千円	307,641千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当社の属するマンション業界は、マンション事業の特色として顧客への引渡が第2四半期及び第4四半期に集中する傾向があり、例年、第1四半期及び第3四半期の売上高は通期売上高と比較し大幅に低くなっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間における減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	183,006千円	151,518千円
のれんの償却額	88,063	88,063

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	234,536	10	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	234,536	10	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	不動産事業	建設事業	不動産 管理事業	賃貸管 理事業	ゴルフ場 事業	計		
売上高								
外部顧客に 対する売上高	11,172,353	12,102,490	2,207,230	2,523,497	473,634	28,479,206	80,675	28,559,882
セグメント間の内部 売上高又は振替高	133,037	5,288,872	32,252	16,078	—	5,470,241	800	5,471,041
計	11,305,391	17,391,362	2,239,483	2,539,575	473,634	33,949,447	81,476	34,030,924
セグメント利益 又は損失(△)	△223,597	776,559	188,578	322,948	△35,229	1,029,258	△89,729	939,529

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸ゴルフ場事業、信用保証業から成っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,029,258
「その他」の区分の損失(△)	△89,729
セグメント間取引消去	△48,337
のれんの償却額	△88,063
四半期連結損益計算書の営業利益	803,129

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」において米国のゴルフ場の減損損失114,945千円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	不動産事業	建設事業	不動産 管理事業	賃貸 管理事業	ゴルフ場 事業	計		
売上高								
外部顧客に 対する売上高	11,727,024	13,183,711	2,420,847	3,312,641	489,688	31,133,914	90,487	31,224,402
セグメント間の内部 売上高又は振替高	75,060	3,166,629	29,407	20,522	—	3,291,619	560	3,292,179
計	11,802,084	16,350,341	2,450,254	3,333,163	489,688	34,425,533	91,048	34,516,581
セグメント利益 又は損失(△)	△101,670	294,221	244,208	351,287	△30,351	757,696	△57,620	700,076

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸ゴルフ場事業、信用保証業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	757,696
「その他」の区分の損失(△)	△57,620
セグメント間取引消去	121,750
のれんの償却額	△88,063
四半期連結損益計算書の営業利益	733,763

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	17円85銭	14円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	418,831	345,168
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	418,831	345,168
普通株式の期中平均株式数(株)	23,453,674	23,453,674

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月7日

日神不動産株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 國 井 泰 成 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石 井 哲 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日神不動産株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日神不動産株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年2月13日

【会社名】 日神不動産株式会社

【英訳名】 NISSHIN FUDOSAN Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 佐藤 哲夫

【最高財務責任者の役職氏名】 該当なし

【本店の所在の場所】 東京都新宿区新宿五丁目8番1号

【縦覧に供する場所】 日神不動産株式会社 横浜支店
(横浜市中区弁天通2丁目26番地2)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長佐藤哲夫は、当社の第39期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。